

# 瓜破西小学校いきいき活動放課後子ども教室【大阪府大阪市】

## ◆事業の目的・理念

- 都市化の影響、少子化や地域のつながりの低下等によって失われた、「暮らし」とともに子どもが育まれる環境を整え、健やかな育ちを支援する。
- 学校と地域との協力のもと、児童が多くの事柄を学ぶことができる様々な体験や活動プログラムを通じて、児童の個性を生かし、自立性、創造性、社会性などを育み、児童の健全育成を図る。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	290日/年間	
参加人数	58人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	●	—

## 教室の実施場所

- 瓜破西小学校の普通教室（活動室）、グラウンド、体育館など

## 教室の開催日

- 課業期間中の平日：放課後～18時
- 土曜日・長期休業中：9時～18時

## 参加対象者

- 瓜破西小学校の学区内に在住する小学生

## 申込み手続きなど

- 瓜破西小学校いきいき活動室にて所定の申し込み用紙を提出。
- 利用料金は不要。ただし、災害補償制度運営費として児童1人あたり500円(年額)の保険料実費負担がある。



製作活動「破いた新聞にボンドを塗って…」

## 活動内容

- モノを大切にという意識を育てるため、廃材活用による作品づくりを行っている。
- 最近の主な作品は次のとおり。共同作品や個人作品など様々なものがある。
  - ・新聞のカラー刷りを利用して大きな木を作成。蛍光塗料を利用して昼夜の変化をもたせる工夫も。（「すてきな木」）
  - ・ティッシュや和紙で作った干支の色紙。338本のアイスクリームのスプーンで作った「輝くくじゃく」。スプーンが羽に。
  - ・使用済みのペットボトルをカラフルに着色した「マイペットボトル」。
- 廃材を家に持って帰ることのできる作品に仕上げる努力をすることで、保護者の理解も得るよう努めている。



完成作品「すてきな木」

## 瓜破西小学校いきいき活動放課後子ども教室 活動予定表

日常活動	読書、オルガン、工作、ビデオ鑑賞、ブロック、パズル、将棋、トランプ、カルタ、コマ回し、ボール遊び、縄跳び、鬼ごっこ、一輪車、遊具、砂遊び、フラフープ 等
行事関係	
春休み	新1年生の受入準備、教室の壁面製作
1学期	タペストリー製作、工作(雨と傘の絵描き工作)オセロ大会
夏休み	大型作品の共同製作、いきいきパートナー(ボランティア)の指導による手芸
2学期	クリスマスツリーの共同製作 お正月用「寿ばし入れ」作り
3学期	かるた、コマ回し、的あて大会

## コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集  
(財)大阪市教育振興公社にて一括募集・採用
- 配置人数
  - 『コーディネーター(嘱託指導員)』 ・登録：2名 ・配置：1名
  - 『安全管理員(地域指導員)』 ・登録：14名 ・配置：4～7名
  - 『ボランティア等(いきいきパートナー)』 ・登録：2名 ・配置：随時参加

## 事業を実施して

- 廃材活用を通じて、1人1人の小さな心がけや努力により地球環境問題の解決の糸口になることを子どもたちに理解させることを目標の一つとした。一見「ゴミ」と思われるものを廃棄するのではなく、モノの価値を最大限活かすことにより「モノを大切に」することの必要性を理解させることにつながった。
- ひとつの大きな作品をみんなで制作している期間、作品が日々変化していくことを通して、子ども達が努力と協調性の大切さを学び、また、作品を完成させることによって達成感や喜びを知ってもらうことができた。
- 環境問題に目を向けるきっかけにしてほしい。